

# たくさん本を読んできました！

先日発行された「図書だより 3月号」でも紹介されていましたが、今年度の貸出冊数は10,599冊でした。これを一人あたりに換算すると、約63冊となります。

4月当初に目標として掲げていたのが、11,200冊一人あたり約67冊でした。目標には達成できませんでしたが、**昨年度よりも351冊増えました。**

**これを昨年度と比較すると、一人あたり10冊増えたこととなります。**私としては、子どもたちがたくさん本を借りて読んでくれたと感激しています。さらに、**100冊以上借りた子どもが15人もいました。およそ全校児童の10人一人の割合です。**とても素晴らしいことです。これは、子どもたち自身が積極的に本を借りてくれたことはもちろんですが、図書担当の職員を中心として、**学校司書の先生、読書ボランティアのみなさんの読み聞かせ、図書ボランティアの方々の図書室の環境づくり、そして、保護者の皆様の家庭での読書のご協力があったからこそだと思っています。**子どもたちの読書活動を推進するためにかかわっていただいた皆様に感謝いたします。

長崎県では、小学校の段階に、1年間で一人100冊読むことを推奨しています。実際に、高学年の子どもたちにとっては、読むのに適すると思われる本の文字は小さくなり、ページ数は多くなるので、この冊数を達成するのは難しいです。ただ、一つの目標として1冊でも多くの本に親しむようになってくれればと思います。

読書は4番目のご飯とも言われています。**来年度も新しい本を購入しますので、図書室が子どもたちでいっぱいになることを楽しみにしています。私も読書冊数を増やします。**



図書ボランティアの方が、卒業・進級を祝って手作りされました。

## おめでとう

佐世保市読書活動コンクール

読書感想文の部

優秀賞

努力賞

読書感想画の部

優秀賞

優良賞

努力賞